



SKY Perfect JSAT
Holdings Inc.

株主通信

2014年3月期

2013年4月1日～2014年3月31日



さらなる成長軌道へ。
新しい楽しさと感動が、はじまります。

株式会社スカパーJSATホールディングス

TOP MESSAGE

株主の皆様へ

中期経営計画達成に向けた 「変革の年」

2014年6月
代表取締役社長

高田 真治



2014年3月期の業績

通期連結決算は前期比、増収増益。

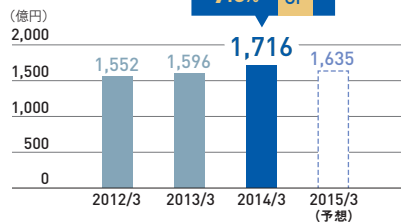
有料多チャンネル事業は黒字化を達成し、営業利益は過去最高益。

2014年3月期は、有料多チャンネル事業において初めて加入者が純減となる大変厳しい年でした。一方、最大の課題であったプレミアムサービスにおけるハイビジョンサービスへの移行が計画以上に進捗したことによる視聴料収入の増加や、カスタマーセンターの運営コスト削減などが寄与し、セグメントでの黒

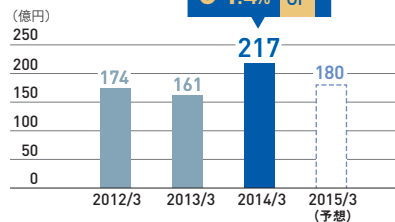
字化を達成することができました。また宇宙・衛星事業においては、官公庁からのシステム更新の受注や国際サービスが堅調に推移したことにより、利益を大きく伸ばすことができました。これらの結果、営業収益が7.6%増の1,716億円、営業利益が34.4%増の217億円と、前期比増収増益を達成しました。

2014年3月期

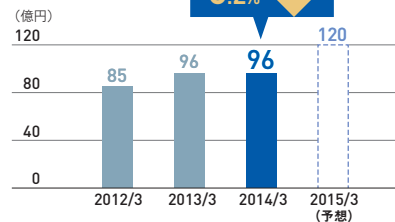
営業収益



営業利益



当期純利益



コスト構造改革～ 「コンテンツ」と「お客様サービス」に重点投入

2015年3月期は中期経営計画の最終年度を前に「変革の年」と位置づけ、中期経営計画の達成およびその後の成長を確実なものとするべく改革を進めます。

有料多チャンネル事業においては、プレミアムサービスの標準画質放送の終了（5月末）により大きく費用構造が変わります。移行完了へ向けた費用負担がなくなる中で、コンテンツの強化とお客様へのサービス向上に重点的に費用を投下してまいります。この「コストの構造改革」と、新たな顧客管理システムの稼働や視聴動向調査の開始などによるデータを活用した「マーケティング改革」により、契約者の拡大（標準画質放送終了による強制解約を除く）と視聴料収入増を目指します。

また、あらゆるデバイスでいつでもどこでも視聴できる「スカパー！オンデマンド」の有料ユーザーの拡大、当社JCSAT-3A衛星を経由した「Channel 4K」など次世代テレビ放送への積極参画、さらに海外向け日本チャンネル「WAKUWAKU JAPAN」の展開を拡大させるなど今後の成長基盤確立に向けた新たな取り組みも本格化してまいります。

宇宙・衛星事業においては、国内市場における防災関連サービス、グローバル市場では経済成長が期待できるアジア・オセア

ニア地域における営業展開をさらに強化するとともに、航空機や船舶向けのインターネットサービスなど需要が一層高まっているモバイル市場での事業収益の拡大を図ってまいります。

2015年3月期の業績見通しと中期経営計画達成に向けた取り組み

成長を加速し中期経営計画（～2016年3月期）の達成を目指します。

プレミアムサービスの標準画質放送終了に伴い、一部視聴者の強制解約を余儀なくされることによる基本料収入等の減少や、放送事業者からの衛星中継器使用料収入の減少と、2014年3月期の宇宙・衛星事業の一時的な利益増の反動などがあり、今期の業績は前期比減収減益（営業利益ベース）になるものと予想しています。

中期経営計画最終年度となる2016年3月期に向けては、再び増収増益になると見込んでいます。2015年3月期特有の収益悪化要因がなくなり利益ベースも拡大します。また防衛省から受託している次期Xバンド事業*の着実な遂行、グローバル営業の推進やコストの最適化などに取り組むことにより、営業収益は2,000億円レベルへ向け、営業利益は目標200億円を上回る250億円を目指し事業を推進してまいります。

*防衛省・自衛隊が運用するXバンド通信衛星3機のうち2機を打ち上げ・運用する事業。Xバンド通信は8GHz以上の高周波数帯域を使う通信で、気象などの影響を受けにくく、高速・安定通信が可能。

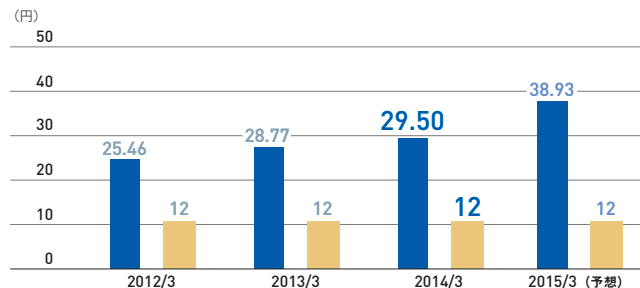
株主還元

成長投資のための内部留保の充実と、 安定配当の継続を図ります。

株主の皆様への利益還元につきましては、将来の成長投資のための内部留保の充実と安定配当の継続を考慮し、2014年3月期においては、1単元株当たり年間1,200円の配当とさせていただきます。2015年3月期も引き続き1単元株当たりの配当金は年間1,200円（1株当たり年間12円）を見込んでいます。

株主の皆様には、引き続きご支援を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

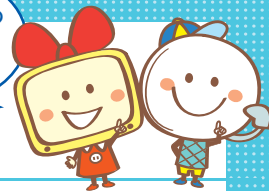
1株当たり当期純利益（■） 1株当たり年間配当金（■）



※2013年10月1日付で行った、1株を100株とする株式分割前の1株当たり当期純利益および1株当たり年間配当金は、当該株式分割後の基準で再計算しています。

ここが知りたい! Q&A

株主の皆様からのご質問にお答えします。



Q.1

最近「4K放送」という言葉をよく聞けけれど、いったい何のこと?



A.1

従来のフルハイビジョンテレビと比較して4倍もの画素数を持つ、次世代のテレビ放送のことです。

髪の毛の一本一本までくっきり映る、驚異的な高画質を実現する4K放送。画質のみならず、奥行き感もわかり、よりリアルな映像を楽しむことができます。さらに、フルハイビジョンテレビの16倍の画素数を持つ放送を8K放送といいます。現在、4K対応受信機も徐々に普及していますが、2020年の東京オリンピックは、4Kのみならず8K放送でも見るできるよう、現在取り組みがなされています。

! ココがポイント!

6月2日に(社)次世代放送推進フォーラムによる試験放送が始まった「Channel 4K」には、当社が保有する通信衛星JCSAT-3Aが利用されています。当社はこの(社)次世代放送推進フォーラムに立ち上げ期から参画しており、NHK、民放各社、メーカー等と協力して4K/8K放送の普及促進に取り組んでいます。

Q.2

4K放送の開始は、スカパーJSATの業績にどのような影響を与えるのかな?



A.2

4K放送の受信機環境が整備されれば、スカパー!プレミアムサービスの受信環境が広がります。

4K放送や8K放送のような大容量のコンテンツの伝送には、コスト面、安定性、信頼性の面で衛星回線が適しています。現在当社は、「Channel 4K」の試験放送向けに衛星回線を提供しているほか、電波の送出など衛星放送のプラットフォームとしての機能や4Kコンテンツの制作を担っています。この試験放送が「スカパー!プレミアムサービス」と同じ、東経128度に位置する通信衛星を利用することから、4K放送受信機の普及は当社サービスの受信環境が整備されることを意味します。このように、4K/8K放送の普及拡大は当社の両事業にわたって将来の収益に貢献します。

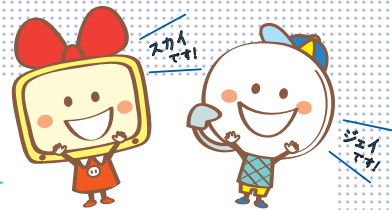
! ココがポイント!

光ファイバー経由の「スカパー!プレミアムサービス光」でも4K放送が見られることを目指した、NTTグループとの伝送実験にも成功したほか、2016年以降には東経110度に位置する通信衛星回線を利用した衛星基幹放送でも展開できるよう技術検証や環境整備を進めています。



[2013年度ハイライト]

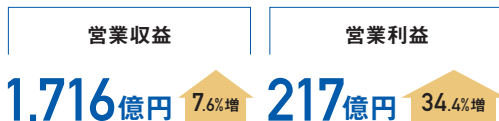
いろんなトピックスを
私たち、
スカパー！キッズが
ご案内します。



[2014年3月期業績]

P.01

増収増益を達成



[特集Vol.1／なるほど! スカパーJSAT]

P.05

日本のコンテンツを世界へ 「WAKUWAKU JAPAN」 インドネシアで好発進!

2014年2月にインドネシアで開局した日本チャンネル「WAKUWAKU JAPAN」。その設立の背景や今後のビジョン、クールジャパンとの関わりなどをご報告します。



[誌上見学会 第1回]

P.07

ようこそ! 横浜衛星管制センターへ

365日、眠らずに衛星通信サービスを見守る、衛星管制のメインステージをご案内します。

「安心・安全・安定」が
合言葉。



[有料多チャンネル事業]

P.09

ハイビジョンへの移行が順調に進捗

プレミアムサービスのハイビジョン加入者が順調に増え、年度目標24万6千件を超える28万7千件の移行を達成。

3サービス累計加入者数(2014年3月末)

371万7千件

「セレクト5」の販売開始

映画、スポーツ、音楽、アニメ…バラエティ豊かな45チャンネルから5チャンネルを自由に選べる「セレクト5」が新登場。

月額1,980円(税込)

「ソチ 2014 パラリンピック 冬季競技大会」を放送

スカパー!では3月に「ソチ 2014 パラリンピック冬季競技大会」を放送しました。スマホやタブレットで視聴できるオンデマンドサービスでも配信しました。スカパー!はこれからもパラリンピックを応援します。



[宇宙・衛星事業]

P.10

官公庁、企業に向けた 衛星ソリューションを強化

災害対策、BCP対策として、衛星通信システムを利用したサービスを積極的に販売。インフラ企業に向けた衛星サービスや、アジアを中心とした海外衛星ビジネスも拡大中。



いいコト盛りだくさんの
2013年度でした。



日本のコンテンツを世界へ

「WAKUWAKU JAPAN」 インドネシアで好発進!

スカパーJSATが中心となって開局準備を進めていた日本チャンネル「WAKUWAKU JAPAN」が、2014年2月、インドネシアで放送を開始しました。日本の“わくわく”を世界へひろげるチャンネル事業の、最新の取り組みとこれからのビジョンをご報告します。



日本の“わくわく”を、現地の言葉でお届けしたい。

AKB48の
姉妹グループ
JKT48も
インドネシアに
あったね



WakuWaku JAPAN

日本で人気の選りすぐりの番組を、24時間365日、現地の言葉でお届けする。そんな発想からスタートした海外向け日本コンテンツ専門チャンネルが「WAKUWAKU JAPAN」です。

当社は、かねてより海外での日本コンテンツの可能性について調査し、各国の放送プラットフォームと交渉してきました。そんな中、人口・経済の成長への期待から有料放送の成長も期待でき、日本への親和性が高いインドネシアを皮切りに「WAKUWAKU JAPAN」チャンネルをスタートいたしました。現在ではインドネシアの衛星放送「INDOVISION」、「Okevision」のほか、ケーブルテレビやIPTVも含む計6つのプラットフォームにて展開しています。

放送局や放送事業者など、コンテンツホルダーと強いつながりを持ち、海外での衛星回線の営業活動を通じて、東南アジアの有料放送市場のポテンシャルの高さに着目した当社だからこそ実現できる事業です。



「あまちゃん」の楽しさが、「Jリーグ」の興奮が、インドネシアを沸かせています。

「WAKUWAKU JAPAN」の開局に伴い、日本の人気コンテンツが次々と放送されています。“じぇじぇじぇ”で日本の朝を元気にしたNHKドラマ「あまちゃん」や、「J1リーグ戦」のレギュラー放送、特撮ドラマ「ウルトラマンコスモス」など、“わくわく”するコンテンツがインドネシアを沸かせています。

「WAKUWAKU JAPAN」開局後、3月に行った視聴状況調査*では、視聴可能世帯の約7割が「WAKUWAKU JAPAN」チャンネルを認知しており、1日の平均視聴分数は世帯当たり125.6分という結果になりました。特に「J1リーグ戦」の世帯平均接触率は29.2%、「あまちゃん」は23.5%と、高い視聴データが得られています。この結果に基づき、より親しまれる番組制作、番組編成を行い、事業パートナー様や広告主様へのソリューションを提案していきます。

*「WAKUWAKU JAPAN」を視聴できる
約200世帯、約900人を対象に実施

©J.LEAGUE PHOTOS



Jリーグ
29.2%

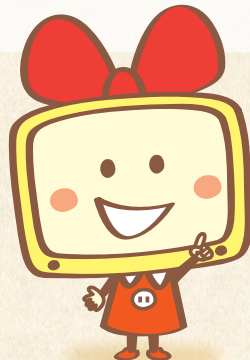
次の「WAKUWAKU」はミャンマーで。
コンテンツの国際交流もはじまります。

インドネシアでの成功を受け、「WAKUWAKU JAPAN」の次の展開国を、同じく経済成長の目覚ましいミャンマーに決定。現地大手メディアが運営する有料放送サービス「4TV」で、2014年6月から放送を開始しました。

一方、2014年4月には、当社の「スカパー！プレミアムサービス」において、インドネシアのメディア最大手「MNCグループ」によるチャンネル「MNCインターナショナル」が開局し、在日インドネシア人向けにインドネシア語で番組を放送しています。

今後も東南アジアを中心に「WAKUWAKU JAPAN」の展開を促進し、日本のコンテンツ普及、またコンテンツの相互展開による各国との文化交流、相互理解が一層進むことに期待しています。

まさに
「じぇじぇじぇ」の
人気だわ



COLUMN

オールジャパンで取り組むコンテンツ世界戦略

日本の放送コンテンツは、韓国の約10倍の市場を持ちながら番組の輸出額は同国の3分の1程度に過ぎず、海外展開の強化が喫緊の課題となっていました。総務省が2011年に設立した「放送コンテンツ流通の促進方策に関する検討会」での検討結果を踏まえ、2013年に設立された「放送コンテンツ海外展開促進機構」に当社も参画し、コンテンツ発信の場の確保等について具体

的な検討を重ねています。また、「WAKUWAKU JAPAN」の展開にあたっては、当社とクールジャパン機構*が主に東南アジアにおけるメディア事業等の具体的検討について基本合意を交すなど、オールジャパン体制で、これまでの遅れを取り戻すべく、日本コンテンツの積極的な世界展開を図っていきます。

*世界が共感する日本文化の国内外への発信や、クリエイティブ産業の育成を図る官民ファンド



ようこそ!



誌上見学会

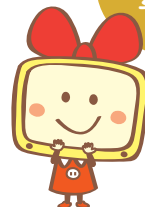
第1回

横浜衛星管制センターへ

「安心・安全・安定」を合言葉に、
24時間365日、衛星通信サービスを見守っています。

株主の皆様へ、スカパーJSATの様々な拠点や施設をご覧ください誌上見学会。第1回は、横浜衛星管制センターをご紹介します。宇宙空間にある通信衛星を24時間365日運用・制御し、公共性の高い通信サービスを守り続ける衛星管制のメインステージ。誌上でゆっくりご見学ください。

24時間365日
安心ね



全国4つの管制局が、災害や障害から衛星通信を守ります。

どんな時でも衛星通信サービスを守り続ける、「安心・安全・安定」の体制がスカパーJSATの衛星管制の特長。横浜衛星管制センターの設備・施設は強い耐震性を備えており、東日本大震災の際にも被害はありませんでした。万一横浜衛星管制センターが災害や障害に見舞われても、全国に3つの副局が設置されており、他の副局が衛星管制を続けます。社会を支えるインフラとして、どんな時にも衛星通信を守り続けることが、スカパーJSATの使命です。



群馬衛星管制所



茨城ネットワーク管制センター



山口ネットワーク管制センター



横浜衛星管制センター

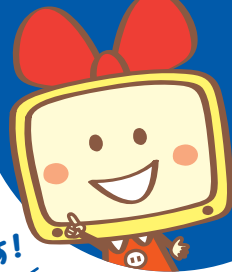
どんな
災害が起きても
安心だね!



横浜衛星管制センターは、約160名の職員が勤務し、主に衛星を運用・制御するサテライトポートと、衛星を利用したネットワーク運用やサービス運用を行っているテレポートの2つの施設に分けられます。

緑が保全され、電波の送受信環境にすぐれた場所に立地しています。約34,000㎡（東京ドームの2.5倍以上）の敷地の中に、直径4.5m以上のアンテナが25基。大きいアンテナは直径11mにもなります。小さいアンテナは数えきれないほど。

センター内の
あちこちを
ご案内します！



テレポート

通信ネットワークの監視と
衛星通信サービスの提供。

衛星回線や電波の状態をチェックし、回線障害を防ぐなど、衛星通信のネットワークを24時間見守ります。また、衛星を利用した様々な通信サービスを提供・運用しています。



1階では通信衛星の
展示室を公開。小中
学校の生徒さんが見
学に来ることも。

サテライト ポート

通信衛星を
24時間コントロール。

スカパーJSATは、赤道上空36,000kmに16機の通信衛星を保有しています。これらの衛星の健康状態をチェックし、正しい軌道位置や姿勢を守る衛星運用を24時間体制で行っています。

横浜管制
センターの
隠れた
マスコットね

衛星アンテナの裏には
カラス除けの
フクロウの模型が！



融雪装置を装備した
アンテナは、大雪にも
負けません。

ご見学の締めくくりに

通信衛星の運用サービスを、世界に提案していきます。

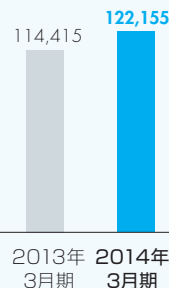
横浜衛星管制センターでは、自社保有衛星の管制のみならず、他社保有衛星の管制の受託や、海外のアンテナを利用したリモートでの衛星管制も行っています。こうした豊かな運用ノウハウと通信サービスをセットにして、これから衛星通信が本格化する国々へ提案することも、スカパーJSATのビジョンの1つです。世界を舞台に成長する、「安心・安全・安定」の衛星通信サービスにご期待ください。

有料多チャンネル事業

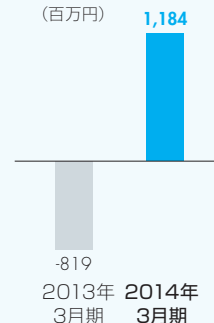
Multichannel Pay TV Business

新商品の販売やパラリンピック専門チャンネルの
立ち上げなど、加入者獲得の取り組みを強化。
さらに標準画質サービス終了に伴うハイビジョンサービスへの
移行も順調に進捗し、セグメント損益は黒字に転換しました。

営業収益
(百万円)



セグメント損益
(百万円)



2014年3月期においては、映画・スポーツ・音楽・アニメ・海外ドラマなど45チャンネルの中から5チャンネルを選択し、月額1,980円(税込)で視聴できる新商品「セレクト5」を本年3月に販売開始するなど、加入者獲得に取り組みました。また同月に開催された「ソチ 2014 パラリンピック冬季競技大会」においては、日本初24時間専門チャンネルを立ち上げ、生中継60時間を含む200時間以上の放送を通じて競技の魅力・面白さを伝えました。

加入状況については、新規加入件数は前期比14.2万件減の48万件、解約件数はほぼ横ばいでしたが、再加入件数を加えた純減数は11.3万件となり累計加入件数は371.7万件となりました。本年5月に終了した「スカパー!プレミアムサービス」における標準画質サービスからハイビジョンサービスへの移行は順調に進捗し、移行件数は計画の24.6万件を上回る28.7万件となりました。

以上の結果、営業収益は、視聴料収入の増加等により、前期比6.8%増の122,155百万円、セグメント利益は、番組供給料等が増加したものの、前期比2,003百万円増の1,184百万円と黒字化を達成しました。

●加入の状況

	2013年 3月期	2014年 3月期
新規加入件数		
スカパー! 合計	62.2万件	48.0万件
スカパー!	54.6万件	42.0万件
スカパー! プレミアムサービス	6.1万件	4.8万件
スカパー! プレミアムサービス 光	1.5万件	1.2万件
年次解約率	18.6%	18.5%
純増数	1.5万件	△11.3万件
累計加入件数	382.9万件	371.7万件
ARPU(¥)	1,784	2,004
SAC単価(¥)	29,931	36,007

用語解説

ARPUとSACについて

ARPU(Average Revenue Per User)は加入者一人当たりの月額視聴料収入を意味し、「基本料」「レンタル会費」「フラット視聴料」「PPV視聴料」「自主コンテンツ収入」から構成されています。

SAC(Subscriber Acquisition Costs)はキャンペーン、販促費、広告宣伝費、無料コンテンツ費からなる新規加入者獲得費用のことで、SAC単価はその総額をその期に獲得した新規加入件数で割ったものです。

宇宙・衛星事業

Space&Satellite Business

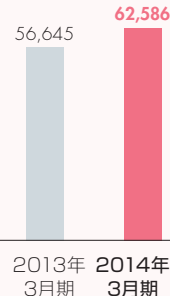
国内の災害・危機管理対策としての

衛星通信需要に対応したほか、需要の旺盛な

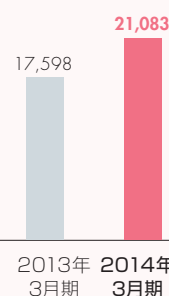
海外衛星ビジネスや移動体衛星通信ビジネスの拡大に取り組み、

営業収益、セグメント利益ともに大幅増益となりました。

営業収益
(百万円)



セグメント利益
(百万円)



国内の衛星通信需要に対しては、災害時に信頼性の高いネットワークを提供可能なEsBirdやExBirdなどの衛星サービスを積極的に販売しました。官公庁の衛星通信システム更新を受注したほか、高速道路会社向けの次期衛星サービスを受注し、2015年の利用開始に向けてシステムの導入を進めています。

海外衛星ビジネスについては、インドネシアの大手財閥であるLIPPOグループが、通信衛星「JCSAT-4B」の衛星回線を利用した同国内向け衛星放送事業を2013年9月に開始したほか、北米及びアジア・太平洋地域における米国政府機関向けのトランスポンダ（衛星中継器）提供も拡大するなど、アジアを中心としたグローバル市場の開拓に取り組みました。

移動体衛星通信ビジネスでは、船舶向けインターネット接続サービス「OceanBB」や米国Panasonic Avionics社が提供する航空機内ネット接続サービスで当社衛星回線が利用されるなど需要が拡大、さらにグループ会社であるJSAT MOBILE Communications社は本年3月より、OnAir社との提携により航空機内Wi-Fiサービスの提供を開始し、移動体衛星通信事業を拡大しました。

以上の結果、営業収益は、衛星通信システム受注の拡大等により前期比10.5%増の62,586百万円、セグメント利益は同19.8%増の21,083百万円となりました。



BCP対策として有効なExBird

用語解説

衛星の「耐災害性」について

衛星通信は、「広域・同報性」「柔軟性」そして「大容量」といった特長に加え、「耐災害性」においてもその優位性を発揮します。地上回線が被災しても、移動基地局を立てることで被災地でも衛星通信が可能になります。いざというときの地上回線のバックアップとしての衛星回線や、BCP(事業継続計画)対策として有効なExBird、災害時にも専用回線で確実につながる通信環境を構築するEsBirdなど、様々な衛星通信パッケージを提供しています。

連結財務諸表

連結損益計算書(要旨)

(単位:百万円)

	2012年3月期	2013年3月期	2014年3月期
営業収益	155,242 ①	159,609	171,683
営業原価	99,061	106,168	111,252
営業総利益	56,180	53,441	60,430
販売費及び一般管理費	38,694	37,288	38,717
営業利益	17,486 ②	16,153	21,713
営業外収益	625	637	634
営業外費用	1,409	1,092	817
経常利益	16,702	15,698	21,529
特別利益	257	73	78
特別損失	1,062 ③	128	3,064
税金等調整前当期純利益	15,897	15,643	18,543
法人税等合計	7,352	5,978	8,960
少数株主損失(△)	△24	△17	△76
当期純利益	8,569	9,682	9,659

①

プレミアムサービスにおけるハイビジョンサービスへの加入者移行に伴う視聴料収入の増加や、官公庁からのシステム更新受注、国際サービス収入の拡大により7.6%の増収となりました。

②

カスタマーセンターの運用コスト削減など業務委託料の減少に加え、JCSAT-2A等の衛星減価償却費が減少し、34.4%の増益となりました。

③

投資有価証券の減損処理により投資有価証券評価損として約29億円を計上しました。

連結キャッシュ・フロー計算書(要旨)

(単位:百万円)

	2012年3月期	2013年3月期	2014年3月期
営業活動によるキャッシュ・フロー	39,976	38,372	33,345
投資活動によるキャッシュ・フロー	1,995	△11,119	△18,969
財務活動によるキャッシュ・フロー	△34,993	△19,401	△25,444
現金及び現金同等物の期末残高(a)	66,404	74,472	63,783
有利子負債期末残高(借入金+無担保社債)(b)	62,506 ④	49,398	45,994
純有利子負債期末残高(b)-(a)	△3,898	△25,074	△17,789

④

現金及び現金同等物の残高は、引き続き有利子負債残高を177億円上回り、実質無借金となっています。

連結貸借対照表(要旨)

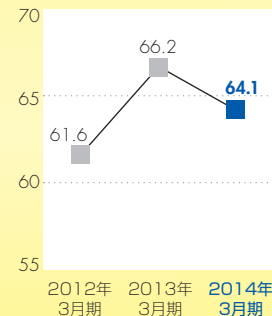
(単位:百万円)

	2012年3月期	2013年3月期	2014年3月期
資産の部			
流動資産	99,606	104,431	109,908
固定資産	200,526	186,055	177,672
有形固定資産	154,088	141,758	140,347
無形固定資産	13,647	12,460	10,704
投資その他の資産	32,790	31,835	26,620
資産合計	300,133	290,486	287,580
負債の部			
流動負債	55,384	51,329	74,238
固定負債	59,696	46,463	28,662
負債合計	115,080	97,793	102,900
純資産の部			
株主資本	186,547	192,191	182,793
資本金	10,000	10,000	10,000
資本剰余金	158,193	158,193	158,193
利益剰余金	22,237	27,881	33,728
自己株式	△3,883	△3,883	△19,128
その他の包括利益累計額	△1,602	90	1,558
新株予約権	22	—	—
少数株主持分	84	410	327
純資産合計	185,052	192,693	184,679
負債純資産合計	300,133	290,486	287,580

5

2013年12月に行った自己株式の取得等による純資産の減少等により、自己資本比率は64.1%となり、2.1ポイント下降しましたが、引き続き高い水準を維持しています。

自己資本比率
(%)



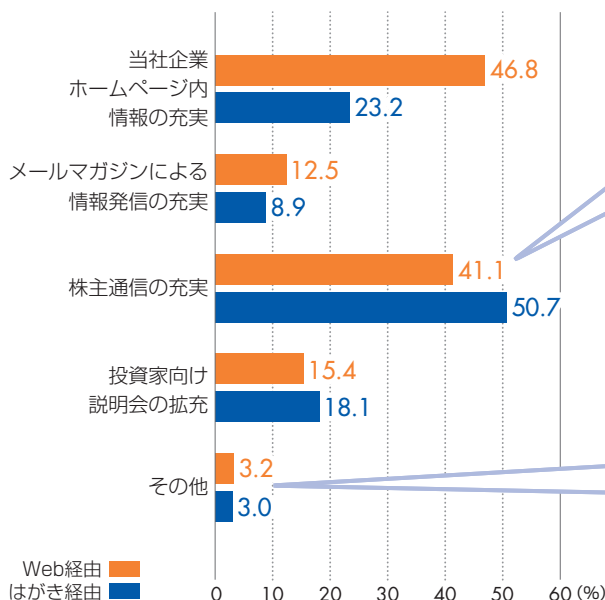
IR活動の充実に向けた取り組み

この度は「第7回株主様アンケート」にご協力いただき、誠にありがとうございました。今回のアンケート結果からは、前回に引き続き「株主通信の充実」「ホームページの充実」そして「投資家向け説明会の拡充」に対するご要望の高さが伺われました。皆様から頂戴したご意見・ご要望につきましては、今後のIR活動の改善と充実のための参考とさせていただきます。

第7回株主様アンケート

送付総数	36,170名
回答者数	Web経由 280名 はがき経由 2,876名 計 3,156名
回答率	8.7%

IR活動に期待すること（複数回答可）



株主通信の有益情報トップ3

- ① 有料多チャンネル事業概況
- ② 宇宙・衛星事業概況
- ③ 社長メッセージ

当社の事業についてより深くご理解いただくために、「特集(P5-6)」を刷新し、独自キャラクターが取り組みのポイントをわかりやすく解説するコーナーを新設しました。さらに「ここが知りたい! Q&A(P3)」では、皆様が日頃疑問に思われる内容にお答えするコーナーも設けました。

IR活動に対するご意見・ご要望

- 今後手がける事業を「ツアー」などを通じて拝見したい
- 会社見学会を開催してほしい
- リスクやウィークポイントを開示すべき
- わかりやすい内容にしてほしい

今回より「誌上見学会(P7-8)」のコーナーを新設し、事業拠点や施設などをわかりやすく解説することで、皆様のご要望にお応えしています。

会社情報

会社概要 2014年6月20日現在

会社名	株式会社スカパーJSATホールディングス (SKY Perfect JSAT Holdings Inc.)
設立	2007年4月2日
資本金	100億円
従業員数	796名(連結)2014年3月31日現在
所在地	〒107-0052 東京都港区赤坂一丁目14番14号
電話番号	03-5571-1500(代表)
URL	http://www.skyperfectjsat.co.jp/

取締役及び監査役

代表取締役会長	西山 茂樹	監査役	平林 良司
代表取締役社長	高田 真治	監査役	坂本 憲昭
取締役	仁藤 雅夫	監査役(非常勤)	勝島 敏明
取締役	田中 晃	監査役(非常勤)	藤田 徹也
取締役	小山 公貴		
取締役(非常勤)	中谷 巖		
取締役(非常勤)	森 正勝		
取締役(非常勤)	飯島 一暢		
取締役(非常勤)	平田 正之		

株式情報 2014年3月31日現在

発行済株式総数 344,603,700株*1 株主数 33,177名

大株主

株主名	持株数	持株比率*2
みずほ信託銀行(株) 退職給付信託 伊藤忠商事口 再信託受託者 資産管理サービス信託銀行(株)	34,657,200	11.24%
(株)フジ・メディア・ホールディングス	28,305,800	9.18%
エヌ・ティ・ティ・コミュニケーションズ(株)	26,057,000	8.45%
住友商事(株)	22,258,400	7.22%
日本テレビ放送網(株)	20,891,400	6.78%
(株)東京放送ホールディングス	18,434,000	5.98%
伊藤忠商事(株)	13,605,800	4.41%
日本トラスティ・サービス信託銀行(株)(三井住友信託銀行再信託分・三井物産(株)退職給付信託口)	13,405,200	4.35%
日本トラスティ・サービス信託銀行(株)(信託口)	7,392,800	2.40%
日本マスタートラスト信託銀行(株)(信託口)	5,638,700	1.83%

2013年12月4日開催の取締役会決議により、同月5日付で28,335,800株の自己株式を取得いたしました。これに伴い、当社が保有する自己株式数は36,387,600株となりましたが、上記大株主からは除いております。

*1 2013年5月8日開催の取締役会決議により、同年10月1日付で普通株式1株を100株に分割いたしました。

*2 持株比率は、自己株式を除いて計算しております。

免責事項

本株主通信に掲載されている予想、戦略、経営方針、目標等のうち、歴史的事実でないものは、将来の見通しに関する記述であり、これらは、現在入手可能な情報にもとづく経営者の前提、計画、期待、判断などを基礎としています。これらの将来の見通しに関する記述は、様々なリスクや不確定要因の影響を受けるため、現実の結果が想定から著しく異なる可能性があります。

株主メモ

決算期日	毎年3月31日
定時株主総会	毎年6月
上記基準日	毎年3月31日
配当の基準日	期末配当3月31日 中間配当9月30日
取引市場	東京証券取引所 市場第1部
証券コード	9412
株主名簿管理人	みずほ信託銀行株式会社 東京都中央区八重洲一丁目2番1号

お問合せ先

お取扱窓口

証券会社に口座をお持ちの場合、各お取引の証券会社等へお問合せ下さい。
証券会社等に口座をお持ちでない場合(特別口座の場合)、下記「お取扱店」にてお取次いたします。

お問合せ先

〒168-8507 東京都杉並区和泉2-8-4 みずほ信託銀行 証券代行部
フリーダイヤル 0120-288-324(土・日・祝日を除く9:00~17:00)

お取扱店

みずほ証券 本店および全国各支店／プラネットブース(みずほ銀行内の店舗)
みずほ信託銀行 本店および全国各支店

未払配当金のお支払

みずほ信託銀行 本店および全国各支店
みずほ銀行 本店および全国各支店
(みずほ証券では取次ぎのみとなります)

※支払明細の発行については、上記の「お問合せ先」または「お取扱店」をご利用ください。

【中間配当金のお支払いに関する取締役会決議ご通知はがきの郵送廃止について】

従来より、「中間配当金支払に関する取締役会決議ご通知」と題した郵便はがきをお送りしてまいりましたが、今後は同はがきの郵送を廃止させていただくことにいたしました。
中間配当金をお支払いする際には、インターネット上の当社ウェブサイト(<http://www.skyperfectjsat.co.jp/>)にてご案内いたします。

スカパー!

アンテナ取付サポートキャンペーン

キャンペーン期間

2014年

4月1日～9月30日

(キャンペーン受付完了分まで)

新規ご加入+1年以上ご契約いただける方に!

7,800円

BS対応
スカパー!アンテナ

+

10,800円

標準取付工事

通常価格
18,600円
のところ

5,000円
で
ご提供

プレミアムサービスに新規ご加入いただいたお客様は、
視聴料等5,000円を割引いたします。

※視聴料等は、本キャンペーン特典提供にあたり、5,000円を請求させていただいた後、プレミアムサービスご加入後3ヶ月以内に請求金額から割引いたします。(5,000円に満たない場合は次月以降のご請求額から割引いたします)

こんな方におすすめです!

せっかく地デジに変えたので、もっと
たくさんチャンネルがあったらなあ

BSは見たいけどアンテナが必要
なんだよね。工事も面倒だし。。

スカパー!が見たかったのに、
CSボタンを押しても映らない。
アンテナが必要だったのかあ...

キャンペーンの申込条件等の内容は、アンテナ取付サポートセンターまたは公式サイトまで

■お申込方法／アンテナ取付サポートセンター(受付時間:10:00~20:00 年中無休)

電話番号 【ナビダイヤル】0570-067-111 (IP電話 03-4334-7811)

※おかけ間違いのないようお願いいたします。

公式サイト <http://www.skyperfect.co.jp/guide/campaign/antenna.html>

※お客様の個人情報に関する取り扱いにつきましては、当社公式サイト上のプライバシーポリシーをご確認いただき、同意の上、お申込みください。

